

令和2年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：36004

学校名：札幌市立簾舞中学校

「健やかな体」育成プログラムのポイント

- ◎体育の授業内容の充実…運動・スポーツを「もっと好きになる」指導の充実
- ◎心身の健康、特に命の大切さを重視した指導の充実

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな体」の育成に係る目指す子ども像	☆運動・スポーツをもっと好きになり、自らの健康や命を大切にすることの育成		
「健やかな体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○基礎体力の保持増進と運動量の確保、体づくりを目指した授業の充実	【成果】 ⇒「保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標が示されている」「保健体育の授業では、授業の最後に今日学んだことを振り返る活動を行っている」とほぼ全ての生徒が感じており、授業の充実を図ることができる。	【課題】 □実技集計において、男子はD、E判定が60%、女子は36%であり、全国平均を上回る比率となっている。 □「保健体育の授業で学習している内容は自分の将来に役に立つ」と思う生徒が全国平均と比べて低めである。
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○心身の健康、特に命の大切さを重視した授業の充実	【成果】 ⇒「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。」と回答する生徒の比率が全国平均よりやや高い。	【課題】 □心の安定を図り、周りの生徒と上手にコミュニケーションをとることに課題を抱える生徒もみられる。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	A「運動は大切だ」「運動・スポーツをもっと好き」になる生徒を多くすることを目指す。このために、体育授業の展開を工夫し、やる気を引き出す授業を実践する。		
	A 体育に関する指導の充実	○全ての体育授業の導入部に「体力づくり」の時間を設定し、意欲的に運動に取り組む環境づくりに努める（従前より継続）。 ○魅力ある授業づくりを実践し、主体的に運動に取り組む指導に努める。 ○「陸上記録会」や「スキー授業」を実施する（従前より継続）。 ○自分の「伸び」を実感して、新たな目標を持てるような評価の在り方に努める。		
	B 健康に関する指導の充実	○「子どもの命の大切さを見つめ直す月間」における取組の改善を図る。 ○「学習・生活日記」の取組により、規則的な生活習慣の確立を図る（従前より継続）。 ○お昼の休み時間の体育館開放を充実させる（従前より継続）。 ○「雪かき汗かきチャレンジ」等、個人や集団で楽しみながら運動量を確保する取組を試みる。		
検証の方法	各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用 ○学校独自の生徒アンケートや保護者アンケート等の活用		

